

2019年11月27日

久慈市

東日本電信電話株式会社 岩手支店

久慈市における RPA と AI-OCR 実証実験への協力について

東日本電信電話株式会社 岩手支店(支店長:星 伸寿、以下「NTT東日本」)は、久慈市(市長:遠藤 譲一)における自治体業務において RPA(※1)と AI-OCR(※2)を活用し、業務における適合及び業務効率化への有効性を分析・検証する実証実験を久慈市と開始します。

※1 RPA=Robotic Process Automation の頭文字。ソフトウェアロボットが業務プロセスを自動で処理する。

※2 AI-OCR=AI(Artificial Intelligence)の技術を取り入れた文字認識技術。

記

1. 背景・目的

久慈市では、今後30年の間に人口が約3割程度減少するという厳しい統計結果が出ており、人口の減少と少子高齢化の進行、働き方・価値観の多様化による社会環境の変化に対応すべく、ICTを活用した市民サービスや行政サービスの効率化・スリム化を推進しています。

このような中、自治体業務における ICT 利活用の本格導入検討に向け、紙を用いる業務に関して帳票の電子化を容易にする AI-OCR と業務自動化を行う RPA を組み合わせた一連の効果検証を実施することとしました。

NTT東日本は、AI-OCR 技術と、社内の業務効率化を通じて蓄積したノウハウを組み合わせることで「紙を使用した業務の効率化」という、どの自治体・企業等にも存在する経営課題の解決に貢献できると考えています。

特に久慈市では、短期間に数千件もの帳票処理を行っている業務が複数あり、より効果的な結果を期待できるとし、本実証実験への協力をいたしました。

NTT東日本は、今後も自治体業務のデジタル化を推進する新たなサービスの展開などを検討してまいります。

2. 実証実験概要

(1) 期間(予定)

① RPA・AI-OCR 利用期間

2019年12月5日(木)～2020年2月3日(月)

② 効果検証・コンサルティング実施期間

2020年2月3日(月)～2020年2月28日(金)

(2) 場所

久慈市役所内(岩手県久慈市川崎町1番1号)

(3) 内容

RPA・AI-OCR を活用した久慈市職員の定型的業務の自動化

(対象となる定型的業務)

市県民税収納業務、ふるさと納税処理業務、アンケート集計業務

3. 役割

<久慈市>

実証実験を実施する業務および実施場所の選定、RPA ツールのインストール端末の準備、RPA・AI-OCR の運用、実証実験結果の提供等

<NTT東日本 岩手支店>

RPA・AI-OCR の導入支援(業務の絞り込みからシナリオ作成までの支援)、実証実験結果の取りまとめ等

4. その他

RPA・AI-OCR による業務自動化イメージは下図のとおり

以上

■ RPA/AI-OCR による業務自動化イメージ

